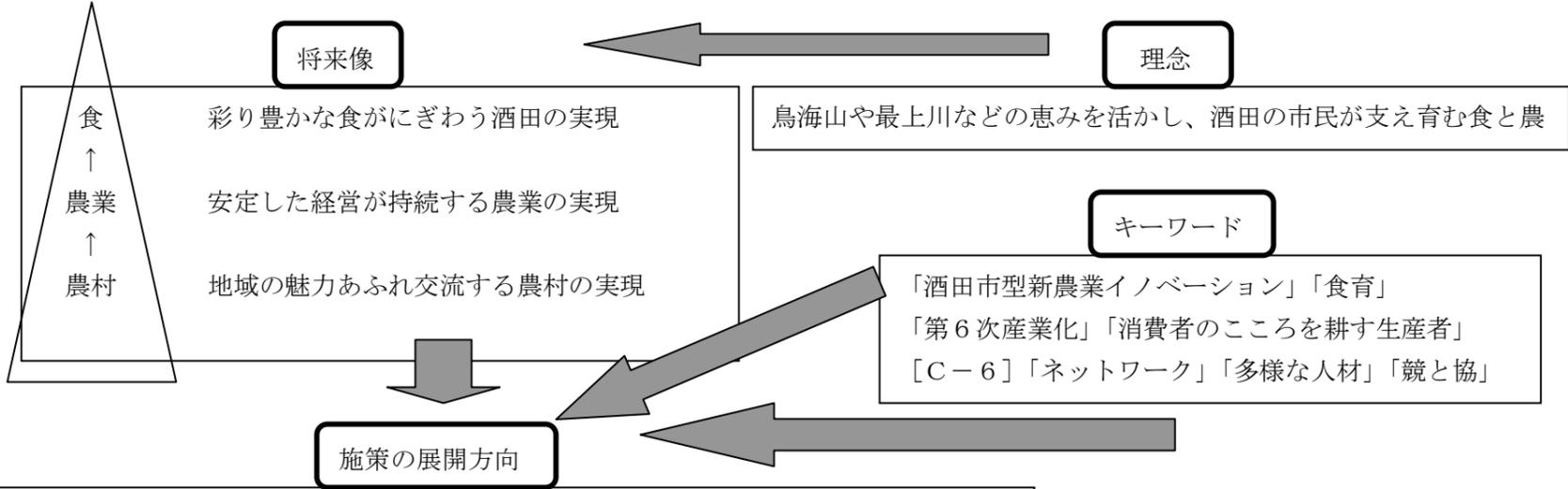


酒田市食と農業・農村ビジョン

概要表



基本的な視点：『市民が支え育む食・環境・農村・交流』

I 酒田の食料自給率向上と食育の推進

1 食料自給率向上
 (1)国内食料自給率向上への貢献 (2)市内の食料自給率向上 (3)市民へのアプローチ

2 食育・食文化・地産地消
 (1)食育の推進 (2)食文化の伝承 (3)地産地消の推進、旬を楽しむ

3 消費者のこころを耕す生産者
 (1)信頼を築く (2)農業で癒す (3)支え合う

II 個性が輝く酒田農業の創造

1 地域農業を支える組織づくり・経営づくり・人づくり
 (1)みんなで作る地域農業・農村組織 (2)めざすべき経営像：「愛郷営農」 (3)人づくりと多様な人材活用

2 個性と競争力ある商品づくり
 (1)活力と個性ある産地 (2)安全・安心・適価 (3)園芸作物取組みへの支援

3 活力を支える生産基盤づくり
 (1)優良農地確保 (2)効率的な農地利用 (3)酒田を守る農地・水・環境

III 第6次産業の拡充

1 農業から総合産業への意識改革
 (1)総合産業化 (2)地域に根ざしたフードシステム(農商工連携) (3)3・3・3・1の経営

2 安全・安心な本物づくり
 (1)トレーサビリティ・GAP (2)高付加価値加工品の開発 (3)安全・健康な農産物を支える技術と情報

3 消費者に愛されるブランドづくり
 (1)「酒田の農産物」ブランド (2)多様な流通チャンネル拡充 (3)フードマイレージ

IV 資源・環境を活かした地域空間づくり

1 環境と共生する庄内平野
 (1)鳥海山・最上川・飛島ラインネットワーク構想 (2)地域資源を活かした地域循環型社会づくり (3)グリーンツーリズム

2 農村アメニティと生物の多様性
 (1)農村アメニティ (2)農村景観 (3)生物の多様性・いきもの調査

3 中山間地域の活性化
 (1)地域農地を守る仕組みづくり (2)多面的機能の活用と中山間ネットワーク (3)新たなライフスタイルと世代交代

V 交流する農村づくり

1 だれもが住んでみたい農村づくり
 (1)快適性に富む農村 (2)利便性に富む生活空間 (3)安全性に富む農村

2 交流圏・ネットワークの拡大
 (1)交流圏 (2)ネットワークづくり (3)ふるさとの家

3 女性の参画推進
 (1)家族 (2)農村 (3)農業団体役員

VI 農業者・消費者の役割、行政・農業団体の役割、推進主体の設置

1 農業者・消費者の役割

2 行政・農業団体の役割

3 ビジョン推進主体設置の検討

当面の課題

- ☆ 食育の推進
- ☆ 農業の担い手の確保と農業生産・経営システムの改革
- ☆ 米の生産・流通システム・販売機能の革新
- ☆ 地域に根ざしたフードシステムの確立
- ☆ 砂丘地農業の課題（マーケティング）
- ☆ 中山間地域の活性化
- ☆ 耕作放棄地対策
- ☆ 定住条件の整備、農村混住化への対応
- ☆ 農村・都市交流の促進
- ☆ 農業団体役員への女性の登用

情勢・環境

- ☆ 経済、環境問題のグローバル化
- ☆ 世界的な人口増加等に伴う食糧需給のひっ迫
- ☆ WTO体制下の国内政策の制約
- ☆ 海外農産物の輸入増加
- ☆ 米政策改革と米価下落
- ☆ 農業従事者の高齢化、後継者の激減、耕作放棄地の増加
- ☆ 農村の混住化の進行
- ☆ 水田経営所得安定対策、農地・水・環境保全向上対策
- ☆ 個別完結型経営の規模拡大
- ☆ 集落営農組織の設立
- ☆ 認定農業者の増加
- ☆ 直売所の増加

50年先を見据えた長期ビジョンですが、酒田市総合計画終了年度（平成29年度）を中間目標とします。